



ついにスタート！！

「保険証をのこして」ネットワークふくおか

一緒に「保険証をのこして」の声を広げましょう！！

現在、私たちひとりひとりが持っている健康保険証。

2024年12月2日、政府は、現在の健康保険証を廃止しようとしています。

いつでも、どこでも、だれでも、必要なときに医療にかかることができる「国民皆保険」制度をこれまで60年以上も支えてくれた健康保険証。

「他人の情報が誤って登録されている」など、新たに登場した「マイナ保険証」で多発している深刻なトラブルを医療現場で何とか防ぐ「セーフティーネット」になってくれている健康保険証。その健康保険証を、なぜ廃止しなければならないのか、私たちには全く理解できません。

保険証が廃止されれば、障がい者の方、認知症の方、高齢者の方など、マイナカードの手続き・取得・管理が難しい方々が「無保険扱い」になるおそれが極めて高くなります。

また、定期的な更新が必要な「マイナ保険証」に事実上「一本化」されれば、更新を忘れてしまって「無保険扱い」になるリスクに、私たち全員がさらされることとなります。

地震や津波など災害のときに、電気に依存する「マイナ保険証」が本当に使えるのかも心配です。

「保険証をのこして」の思いを結集するために、障がい者、高齢者、女性、労働者、中小企業事業主、国家公務員、自治体職員、弁護士、医療・介護・福祉・保育等の関係者で話し合い、2024年4月1日、「保険証をのこして」ネットワークふくおか（会員10万人超）がスタートしました。

私たちは「マイナ保険証」や「医療のデジタル化」に反対しているわけではありません。

電車やバスに乗るときに「交通系ICカード」と「現金で買うキップ」が共に使えるように医療にかかるときも「マイナ保険証」と「健康保険証」が共に使えるようにしてほしいんです。

みんなの生命と健康を守るために「保険証をのこして」ほしいだけなんです。

私たちと一緒に、「保険証をのこして」の声をますます広げましょう！！



2024年4月1日

「保険証をのこして」ネットワークふくおか